

NOSAI

に い が た

新潟県農業共済組合広報紙

2023. **2**

No.10 February



おしえて建物共済 P4~5

青色申告を始めましょう……………P6

園芸施設共済 一春の強風被害に備えて加入を……………P10





明日へむかって

上越市下百々
「ほーりーふあーむ」
代表 堀口 典 幹さん(36)

土づくりで病気に強い作物を



ネギ好きが高じて

「栽培を始めたのはネギが好物だからです」と笑顔で話すのは、上越市下百々「ほーりーふあーむ」代表の堀口さん。平成24年に上越市にUターンし、耕作放棄地を解消しようと野菜の栽培を始めました。

最初はネギ栽培から始め、現在は露地約1haとハウスで一年を通じて約7種類の野菜を栽培しています。



甘みが強く、辛みや刺激臭が少ないのが特徴の「リーキ」

土づくりに取り組む

堀口さんが野菜栽培で妥協しないのは土づくりです。「人が野菜を育てるのではなく、土が野菜を育てる」という考えのもと、耕地の土壌分析結果をふまえ、施肥のタイミングや量の調整を行っています。

保水性と排水性の両方を兼ね備えた団粒構造の土づくりを行うことで、作物の光合成能力を高めた、通気性を良くして作物が病気になりにくい環境を整えています。理論的な栽培管理方法を実践することで、食味が良いのはもちろん、栄養価も高い農産物の栽培に力を注ぎます。

販売先にも好評な味

地元のレストランに依頼されて栽培を始めたのが「リーキ」です。「ヨーロッパで栽培されるネギで甘味が強く、辛みやネギ特有の刺激臭が少ないため食べやすいのが特徴です。ポトフにするとおいしい

いですよ」と話す堀口さん。

販売先のイタリアンレストラン『TRATTORIA LA PENTOLACCIA』は、生産者の顔が見える食材調達を心がけており、シェフの横井さんは「堀口さんのリーキは甘味があり、お客様にも好評です。太いので切ったものを加熱しても型崩れせず、見栄えも良いので魚との炊き合わせやピザ、スープに使用しています」と話します。

新たな取り組み

新たな試みとして、ヨガと農業

を組み合わせた農業体験活動などを実施したり、自農園のトマトを利用した離乳食を開発するなど堀口さんのアイデアは尽きません。



リーキをふんだんに使ったピザ



堀口さんとシェフの横井さん

(取材協力) 上越市下門前2292
TRATTORIA LA PENTOLACCIA
<http://www.quals.jp>

雪害や風水害など、頻発する自然災害も補償!

「総合共済」

さらなる安心をプラスした

対象となる
共済事故は…

「火災共済」で
対象となる事故



そのほか、土砂崩れや地すべり、噴火、津波などがお支払いの対象となります。なお、地震・噴火・津波は建物では5%以上家具類では70%以上の損害が発生した場合、共済金額の50%を限度にお支払いします。



水害



風害



雪害



地震



災害は突然やってきます。
激甚化する自然災害への「備え」として、
総合共済へのご加入を、ぜひご検討ください!



「備えあれば憂いなし」ね

6



「住まいる」で、
我が家も
スマイルだね!

詳細はお気軽にNOSAIまでお問い合わせください。

8



この機会に
「総合共済」を
検討してみます

大切な財産を守るために
加入した建物共済なので、

7

現在の加入に
プラス
して!

小さな事故にも安心の特約 小損害実損てん補特約

損害額が30万円以下の場合、
損害額をそのまま共済金としてお支払いします。
(ただし、地震等事故は除きます。)

手頃な掛金で、
損害額が
30万円以下の
小損害事故に
備えられます!



9

不審な電話に
ご注意ください!!

NOSAI職員をかたる人物から「掛金が未納になっている」、知らない業者から「NOSAIの建物共済の加入状況を教えてほしい」などの不審な電話が加入者にかかってきたという事例が報告されています。詐欺などの犯罪につながる可能性がありますので、怪しいと感じたらお近くのNOSAIまでお問合せください。

おしえて!

NOSAIの住まいる 建物共済

「火災共済」と「総合共済」、私にピッタリなのはどっち?

NOSAIの建物共済「住まいる」には、火災共済と総合共済の2種類があり、ご自身に必要な補償に合わせて選択することができます! 災害はいつ起こるかわかりません。生活の基盤となる住宅などの建物の補償を万全にしたい、ノーサイ家の様子を見てみましょう。



2



1

火災や落雷事故に備えるには!
安い掛金で、充実した補償の

「火災共済」

対象となる
共済事故は…



火災



建物外部からの
物体の衝突等



落雷



盗難によって
生じたき損等

そのほか、破裂又は爆発、騒じょう等での破壊等、給排水設備に生じた事故に伴う漏水等による水ぬれなどがお支払いの対象となります。
地震を起因とする火災等の損害や、それにより延焼、又は拡大した損害は火災共済ではお支払いできません。



3



5



4

青色申告を始めましょう

収入保険制度は、青色申告を行っている農業者を対象としています。

青色申告を行うことで、自らの経営状況を客観的に確かむことができるだけでなく、収入保険に加入でき税制上のメリットもたくさんあります。ぜひこの機会に、青色申告を始めませんか。

01 家族従業員に支払う給与を必要経費に算入できる

青色申告者と生計を一にする配偶者やその他の親族（15歳以上）で、専ら農業に従事している人に給与を支払っている場合、その給与が適正なものであれば全額必要経費とすることができます。

02 所得金額から最高で65万円の特別控除

正規の簿記（一般的には複式簿記）の方は、所得金額から55万円（e・T・axによる申告、または電子保存の場合は65万円）、簡易な方式の方は、最高10万円を控除できます。

03 赤字を翌年以降3年間の黒字から控除できる

事業から生じた純損失の金額を、翌年以降3年間にわたって順次各年分の所得金額から差し引くことができます。また前年分の所得税の還付を請求することができます。

収入保険のご相談は

収入保険に興味がある、制度内容を聞きたいなど個々の相談を随時お受けしています。

NOSAI新潟のホームページ「収入保険相談窓口」をクリック、または右の二次元コードを読み込んで必要事項を入力してください。



収入保険 加入者の声

価格変動リスクへの不安解消

胎内市乙 今井 紀夫さん(46歳)

水稲3.7ha、ネギ70a、ハウス2棟7a(イチゴ)

制度開始当初から会議や説明会などに出席していて、収入保険は保険料が高いというイメージがありました。しかし、NOSAIの職員から説明を聞いて内容を理解すると、それほど高い

印象はなくなりました。

当時は、水稲共済と野菜価格安定制度に加入していましたが、毎年収入が変動しても一定の補償があることに一番魅力を感じ、加入を決めました。

一昨年は米の不作とネギの価格低下などにより打撃を受けましたが、どれくらいの補填を受けられるのか計算できたので、経営の目的を立てることができました。

ネギは各地の情勢や出荷時期の影響を強く受けるので、価格の変動が激しく、以前は借り入れをして資金の工面をしなければならず大変でした。その心配がなくなり胸をなでおろしています。

自分の努力だけではカバーできないあらゆるリスクに対応できる収入保険は、良い保険だと思っています。これからは、既存の作物栽培にとどまらずに、消費者ニーズに沿った作物の栽培も検討していきたいです。



収入保険は自身の農業経営に適していると感じています

柏崎市へ収入保険推進拡大に対する感謝状を贈呈

全国農業共済組合連合会はこのほど、収入保険の加入拡大に貢献いただいた柏崎市へ、敬意を表し感謝状を贈呈しました。

この感謝状は、農業経営収入保険事業の普及及び加入拡大等に貢献した地方公共団体の首長、関係機関等に対し、収入保険の実施主体である全国農業共済組合連合会が贈呈しているものです。

柏崎市からは、加入促進のため新規の加入者に対して、保険料等の2分の1（10万円を限度）を補助していただき加入者の増加につながりました。

令和4年12月22日に、同連合会 高橋博会長に代わって、NOSAI新潟尾田組合長が柏崎市役所を訪問し、櫻井雅浩市長に感謝状をお渡ししました。

柏崎市では、令和5年度、令和6年度も補助事業を実施する予定です。



感謝状を受けた櫻井柏崎市長(左)と尾田組合長



安心して農業を続けるために

佐渡市泉 土屋 智徳さん(45歳)

水稲13.4ha、稲発酵粗飼料(イネWCS)2ha、ニンニク2a、そば90a

収入保険に加入して今年で3年目になります。収入保険は、自然災害や病害虫などによる減収以外にも、さまざまな災害に対して補償が得られるので、加入することに決めました。

特に近年は、市場価格の低下や今まで経験した事のない新型コロナウイルス感染症拡大による農業経営への影響など心配が尽きません。

収入保険に加入することで安心して農業が続けられ、災害などで困っている時に助けってもらえるのは本当に心強いです。

令和3年は、水稲が減収しましたが、収入保険に加入していたおかげで保険金を受け取ることができ、経営面でも助かりました。

これからは主力である稲作はもちろん、ニンニクなどにも力を注ぎ、面積も拡大していきたいと思っています。また、品質の良い物を生産し、消費者に喜ばれるものを提供していきたいです。

安心して農業を続けるために、農業者には収入保険への加入をおすすめしたいですね。



農家が安心して農業を続けられるので助かります

佐渡支所

製造業の技術力、農業へ活路

佐渡市真野新町 テクノサド株式会社

「高品質なモノを作り、お客様に届け喜んでいただく。農業も製造業もゴールは同じです」と話す山岡弘之社長。工業用部品の製造を中心に営むテクノサド株式会社は、平成25年に地元JAから業務委託を受け農業事業に進出しました。現在は水稲32ha、柿4ha、みかん60aを栽培しています。



「高品質な商品作りを心掛けています」と話す山岡社長



安全管理には細心の注意を払っています

水稲はコシヒカリ中心の栽培で、積極的な営業努力により関東のホテルや旅館を中心に販売を行い、毎年販路を拡大しています。柿は栽培から加工まで自社で一貫生産を行い、あんぽ柿や干柿を生産しています。製造する薄切りの「あんぽスライス柿」は、程良い甘さと食べ易さで評判のヒット商品です。山岡社長は「製造業のミスは短期間で取り返すことが出来ますが、農業のミスを取り返せるのは1年後です。毎年が真剣勝負です」と力強く語ります。

沼支所

豊かなむらづくり全国表彰事業「農林水産大臣賞」を受賞

小千谷市若柵 株式会社Mt.ファームわかとち

代表取締役 細金 剛さん

『株式会社Mt.ファームわかとち』がある若柵集落は標高約200mで自然豊かな棚田が一面に広がり、冬には3m以上の雪が積もる豪雪地帯です。同社は、地域活性化、地元農業の後押し、販売促進をするため平成28年に地元農家の共同出資で設立され、水稲約8haの他にスイカやカリフ



表彰状を手にする細金さんと社員のみなさん

ラワーなどの野菜を栽培しています。生産した農産物は加工販売したり、平成22年に開業した築160年の古民家を改修した農家民宿「おっこの木」で提供する料理にも使用しています。同施設は、地域住民の交流の場としても重要な役割を担っています。また、インターン生の受入れや、しめ縄工房を設立し体験希望者を受け入れ、伝統文化の継承にも取り組んでいます。このような活動が評価され、令和4年度「豊かなむらづくり全国表彰事業」で農林水産大臣賞を受賞しました。「高齢化社会となり、どのように収益を上げて地元を維持していくかが課題。若い世代の雇用を創出し、山間地でも稼いでいくことが可能だとPRしていきたいです」と細金さんは話します。

「みんなのひろば」は各支所での出来事や、地域の話、NOSAI部長さんや組合員さんにスポットをあて、紹介するコーナーです。

~支所通信~

中越支所

オール見附産を目指して

見附市葛巻 MITSUKE Local Brewery 中嶋 正和さん(51)

見附市でクラフトビールを製造・販売しているMITSUKE Local Breweryでは、今年、地元で育てた麦からビールを作る挑戦をしています。「オール見附産のビールを作りたい」と目標を話す店長の中嶋さん。醸造を始めて6年目になりますが、原材料をす



味の印象を風景にたとえた商品名など店長の遊び心が詰まったネーミングのビールたち

中嶋さん(左)と「みつけらいく」代表の奥田さん(右)

べて地元産にしようとする費用がかさんでしまうことが大きな課題です。原料の生産者とwin-winの関係を作りたいという思いで協力者を探していたところ、農産物の生産・加工、農作業の受託などを行う合同会社「みつけらいく」代表の奥田さんが麦を作付すると知り、共同栽培を申し出ました。現在、同市明晶町の圃場で「小春二条」と「ファイバーズノウ」の2品種、合わせて約10aを栽培しています。「次はホップも自分達で作ってみたいですね。成否を悩んでなにもやらないよりも、まずやってみる」と笑顔を浮かべる中嶋さん。県外から訪れる方にも見附産ビールを楽しんでもらい、地元を盛り上げることにも繋がっていったら、と思います。

見附市葛巻1丁目9-49
☎0258(63)5873
営業時間18時~23時

上越支所

「オニグルミ」で地域活性化を目指す

上越市牧区倉下

「くるみや」店主 原田 真理さん(48)

「近所で実って落ちた沢山のオニグルミを見て、これを使って何かできないかと思ったのがきっかけです」と話すのは、上越市牧区でカフェを営む原田さんです。東京都出身の原田さんは平成30年からの3年間、牧区で地域おこし協力隊として活動した後、令和3年9月、同区に『くるみや』を開店しました。店内では、天然のオニグルミを使ったケーキやマフィンなどを味わうことができます。オニグルミは日本古来の在来種で、一般的なクルミと違い殻が厚いため処理しづらく、また実も小さいため市販されることがほとんどありません。しかし、栄養価が高いことや風味の良さから地元の郷土料理には欠かせない食品です。「クルミの処理方法が全く分からない状態からのスタートでしたが、地域の方に二から教えていただき現在に至ります。応援してくださる温かさがとてもうれしいです」と原田さんは話します。「これからは『くるみや』が地域外の方に牧区を訪れ、知っていただくよききっかけになればと思います」と話す原田さんは地域の活性化にも励みます。

みんなのひろば

NOSAI にいがた



「食材はなるべく上越市産、国産を心がけています」と原田さん

『くるみのブラウニー』クリームには豆乳ヨーグルトを使っています

営業日 第2、第4土曜日・日曜日
営業時間 7時30分~15時30分
ラストオーダー 15時

春の強風被害に備えて加入を

育苗期間の短期被覆は掛金が安い

台風や突風など、園芸施設は一年を通して風害のリスクにさらされています。園芸施設共済で風害による支払いが最も多い季節は、意外にも春です。

直近5年間で見ると、平成30年3月には617棟、令和3年4月には244棟もの被害が発生しました。自助努力では防ぐことのできない自然災害への備えとして、園芸施設共済への加入をおすすめします。

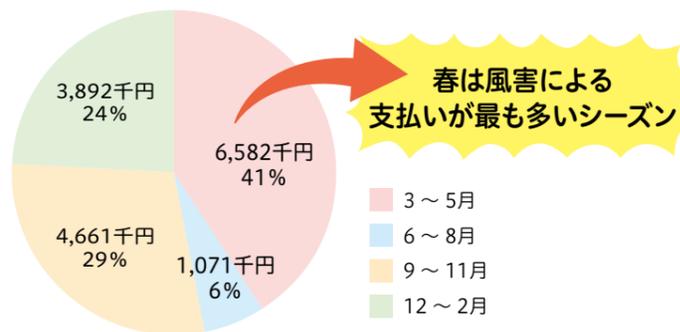
園芸施設共済は、様々な補償プランを用意しており、個々の要望に応じて加入することができます。令和2年の制度改正により「小損害不填補1万円特約」や「付保割合追加特約」が追加され、補償内容が拡充されました。水稲育苗期間のみの短期被覆ですと掛金もぐんとお安くなります。

被覆期間が短いと掛金が安いよ!



強風により被覆物に被害を受けた園芸施設

●風害による四半期ごとの平均支払共済金



※支払共済金は、過去5年（平成29年度～令和3年度）の平均支払共済金

●1万円特約

標準コース	1万円特約コース
損害額が 3万円 (また共済価額の5%)を超える場合に補償	損害額が 1万円 を超える場合から補償

※この特約は共済価額が20万円を超えるハウスに付加できます。

●付保割合追加特約

標準コース	付保割合追加特約コース
共済価額の 8割 を上限に補償	共済価額の 9割 または 10割 まで補償

※この特約は付保割合8割を選択した場合にのみ付加できます。

共済掛金等の試算例

- 間口4間×奥行12間(7.2m×21.6m≒160㎡)
- パイプの太さ 25.4mm ●建築後10年以上経過
- 被覆経過年数 一般農ビ:2年 耐久農PO:4年の場合

本体共済価額①	被覆材	被覆期間	被覆材共済価額②	共済価額計①+②	共済金額(補償額)	農家負担掛金等
292,000円	農ビ0.1mm	2ヶ月	46,240円	338,240円	270,592円	718円
	農PO0.15mm	1年間	59,500円	351,500円	281,200円	4,266円

※ハウスの大きさや構造等によって、お支払いいただく掛金等の額は変わります。
※園芸施設の設置期間が短期の場合を除き、共済責任期間は未被覆時期を含んだ1年間加入となります。



五泉市 大湊直売所



五泉産の野菜や、手作りコンニャクなどの加工品も人気があります



住所/五泉市論瀬吉和田5789
電話・FAX/0250-42-0127

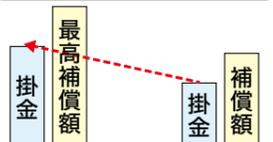
県道55号線沿いにある「大湊直売所」は、店主の大湊藤喜さんが栽培した米や地元産の野菜、毎朝市場で仕入れた農作物や果物のほかに、手作りコンニャクや漬物などの加工品も販売しています。特に、大湊さんが栽培するお米はおいしいと、お客様からも好評です。「食品ロスを出さないために、店は年中無休で営業しています」と話す大湊さん。新鮮なものをより

低価格で提供するため、努力を惜しみません。「開店当時、お客様は近所の方が多かったのですが、ここ数年、口コミなどで若い人や遠方からのお客様さんも増え、とてもうれしいです。季節によって販売する品物は変わってしましますが、五泉産の野菜や米を揃えています。とてもおいしいので多くの方から食べてほしいです」と話します。

家畜疾病傷害共済の掛金算定方法が変わります(令和5年4月)

補償額を上げても掛金が変動しない仕組みへ

〈令和5年3月加入まで〉
最高補償額を選択すると掛金も増加



〈令和5年4月加入から〉
最高補償額を選択しても掛金変わらず



家畜共済には、病傷事故診療費の1割を自己負担し、9割を共済金として給付する疾病傷害共済があります。これまでの疾病傷害共済の掛金は、選択する補償額(共済金額)で変動していましたが、事業収支の安定を図るため、令和5年度より一定の選択割合以上は、掛金の変動がありません。(適用される危険段階が高い場合は、補償額の増加により掛金が上昇することがあります。)

今まで補償額を上げて加入していた方は、これを機に、最高補償額を選択しましょう。なお、過去の共済金支払実績で算定した損害率によりランク(危険段階)を付与し、掛金率が決定されること、また、牛は2分の1、豚は5分の2相当の掛金が国庫負担となる点は、従来の仕組みと同様です。詳しくは各支所の家畜共済担当者へお問い合わせください。

みんなで読もう農業共済新聞

NOSAIでは、営農とくらしのヒントをお届けする「農業共済新聞」を毎週発行しています。

購読の申し込みは、お近くのNOSAIまで。



購読料金5,520円(1年間)
 送料・税込み

表紙の紹介



表紙の写真は、新潟市角田浜でネギ1.5ha、スイカ1.5ha、水稲1ha、春菊60aを栽培する大滝 哲さん(35)です。
 取材の日は、春菊を栽培するハウスで撮影させていただきました。

大滝さんは25歳の時に家業の農業を継ぎました。少しずつ規模を拡大し、現在は両親と哲さん夫婦4人で農業に汗を流します。

「目標は1人1,000万円
 円の収入を確保することです。家族力を合わせ、無理せず頑張っていきたいです」と笑顔で話します。



NOSAI クイズ!

締切り
 令和5年3月10日(金)
 当日消印有効

●に入る言葉は何?

下の①②のそれぞれが意味する言葉は、同じ発音の言葉です。
 ●に入る言葉は何でしょう。

- ① 海上を船で渡ってゆくこと。
- ② 公衆に開放すること。

クイズの答え 「●●●●」

応募方法

はがき、FAX、e-mailに「NOSAIクイズ2月号」と明記のうえ ①クイズの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名(ふりがな) ⑤年齢 ⑥電話番号 ⑦NOSAIや広報紙へのご意見、ご要望などを記入のうえ、どしどしご応募ください。

応募先

- 〒950-0327 新潟市江南区和田字下通635番地1 NOSAI新潟 クイズ係まで
- FAX 025-385-7755
- e-mail kikaku@nosai-niigata.or.jp

正解者の中から抽選で20名様に1,000円分のクオカードをプレゼントします。

10月号のこたえ「ハッコウ」 応募数/359名 正解数/350名 ※当選者は発送をもって発表にかえさせていただきます。



本所	〒950-0327	新潟市江南区和田字下通635番地1	TEL025-288-6888	FAX025-385-7755
下越支所	〒959-2415	新発田市住田544番地	TEL0254-33-3901	FAX0254-33-3293
新潟支所	〒950-0327	新潟市江南区和田字下通635番地1	TEL025-282-9292	FAX025-280-4378
佐渡支所	〒952-1209	佐渡市千種266番地	TEL0259-63-4121	FAX0259-63-4786
中越支所	〒940-0032	長岡市干場2丁目4番6号	TEL0258-36-8022	FAX0258-34-8020
魚沼支所	〒946-0076	魚沼市井口新田547番地12	TEL025-792-7077	FAX025-792-7799
中魚沼NOSAIセンター	〒948-0041	十日町市北新田169番地1	TEL025-752-2264	FAX025-750-1178
上越支所	〒943-0824	上越市北城町四丁目4番11号	TEL025-525-1130	FAX025-523-9333
糸魚川NOSAIセンター	〒941-0069	糸魚川市南寺島一丁目6番34号	TEL025-552-1690	FAX025-553-0430

ホームページ